

布えほん製作ボランティア「ひまわり糸の会」

～布えほんの温もりをさまざまな子どもたちへ～



「ひまわり糸の会」プロフィール

◆平成16年5月 野木町の子どもたちに布絵本を ～講演会をきっかけとして～

図書館で開催された渡辺順子先生の“子どもの読書”についての講演会の中で、布絵本が紹介されました。その後、「野木町立図書館にも布絵本をおいてほしい」という受講生からの強い要望があり、図書館で布絵本の製作ボランティアを募集しました。

◆平成16年10月 布絵本製作講座開催

東京都で布絵本製作を指導されている小川友江先生（練馬区・すずらん文庫所属）を講師にお招きして、約1年間をかけて布絵本製作講座（初級・中級・上級）を開催しました。

◆平成17年1月 「ひまわり糸の会」発足、活動開始！

野木町立図書館布絵本製作ボランティア「ひまわり糸の会」として、図書館に所蔵する布絵本の製作を開始しました。13名の方がボランティアとして活動を始めました。

◆平成18年11月～現在 毎年「布絵本製作体験講座」を開催

布絵本のすばらしさを多くの人に知ってもらいたい、子どもたちに楽しんでもらいたいとの思いから、毎年、布絵本の製作体験講座を開催しています。令和6年度で17回を数え、延べ159名を越える方に手作りの布の絵本を作っていただきました。（※令和2・3年度は感染症対策の為、止む無く中止となりました。）

◆令和7年4月現在

10名の会員がボランティアとして活動しています。布絵本所蔵数112冊。



布えほんの特徴

①すべての子どもたちに絵本の楽しさを伝える

読むばかりでなく、「見て・触って・楽しめる」絵本であるため、幼児やさまざまなハンディキャップを持った子供も利用することができます。

②指先の動きの練習

布やフェルトをベースに・ボタン・ひも等を材料に用いて作られており、「付ける・はずす・ひっぱる」などの遊びを通して、指先の感覚をやしなうことができます。

③手作りのぬくもりを伝える

ボランティアが1冊ずつ丁寧に手縫いで作っています。布やフェルトの温かな感触から、作り手が子どもたちに届けたい心のぬくもりを感じてほしいと願っています。